

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2025年10月24日提出
【計算期間】	第10期中(自 2025年1月28日至 2025年7月27日)
【ファンド名】	eMAX I S 最適化バランス（マイゴールキーパー） eMAX I S 最適化バランス（マイディフェンダー） eMAX I S 最適化バランス（マイミッドフィルダー） eMAX I S 最適化バランス（マイフォワード） eMAX I S 最適化バランス（マイストライカー）
【発行者名】	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 横川 直
【本店の所在の場所】	東京都港区東新橋一丁目９番１号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【連絡場所】	東京都港区東新橋一丁目９番１号
【電話番号】	03-4223-3037
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

【eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）】

（1）【投資状況】

2025年 7月31日現在
(単位：円)

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	6,433,055,349	99.00
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	64,666,414	1.00
純資産総額		6,497,721,763	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（2）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年7月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (2017年 1月26日)	79,528,322	79,528,322	9,992	9,992
第2計算期間末日 (2018年 1月26日)	578,287,926	578,287,926	10,536	10,536
第3計算期間末日 (2019年 1月28日)	913,675,754	913,675,754	10,279	10,279
第4計算期間末日 (2020年 1月27日)	1,722,503,476	1,722,503,476	10,891	10,891
第5計算期間末日 (2021年 1月26日)	2,301,813,870	2,301,813,870	11,132	11,132
第6計算期間末日 (2022年 1月26日)	3,575,041,678	3,575,041,678	11,514	11,514
第7計算期間末日 (2023年 1月26日)	4,149,837,678	4,149,837,678	11,324	11,324
第8計算期間末日 (2024年 1月26日)	4,884,420,376	4,884,420,376	12,358	12,358
第9計算期間末日 (2025年 1月27日)	6,233,192,617	6,233,192,617	12,858	12,858
2024年 7月末日	5,646,121,097	—	12,678	—
8月末日	5,715,556,664	—	12,625	—
9月末日	5,862,296,799	—	12,646	—
10月末日	6,074,876,626	—	12,874	—
11月末日	6,089,933,763	—	12,753	—
12月末日	6,214,872,832	—	12,935	—
2025年 1月末日	6,261,156,409	—	12,825	—
2月末日	6,129,618,323	—	12,592	—
3月末日	6,168,629,645	—	12,514	—
4月末日	6,188,227,376	—	12,445	—
5月末日	6,300,235,475	—	12,548	—
6月末日	6,429,803,726	—	12,751	—
7月末日	6,497,721,763	—	12,879	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円
第5計算期間	0円
第6計算期間	0円
第7計算期間	0円
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	△0.08
第2計算期間	5.44
第3計算期間	△2.43
第4計算期間	5.95
第5計算期間	2.21
第6計算期間	3.43
第7計算期間	△1.65
第8計算期間	9.13
第9計算期間	4.04
第10中間計算期間	△0.14

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

【eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）】

（１）【投資状況】

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	5,495,921,024	99.01
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	55,183,466	0.99
純資産総額		5,551,104,490	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年7月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

		純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日	(2017年 1月26日)	104,038,196	104,038,196	10,247	10,247
第2計算期間末日	(2018年 1月26日)	546,855,605	546,855,605	11,145	11,145
第3計算期間末日	(2019年 1月28日)	815,892,066	815,892,066	10,692	10,692
第4計算期間末日	(2020年 1月27日)	1,412,965,035	1,412,965,035	11,624	11,624
第5計算期間末日	(2021年 1月26日)	1,686,114,151	1,686,114,151	12,025	12,025
第6計算期間末日	(2022年 1月26日)	2,660,796,064	2,660,796,064	12,728	12,728
第7計算期間末日	(2023年 1月26日)	3,094,444,575	3,094,444,575	12,754	12,754
第8計算期間末日	(2024年 1月26日)	4,030,221,794	4,030,221,794	14,427	14,427
第9計算期間末日	(2025年 1月27日)	5,110,226,452	5,110,226,452	15,569	15,569
	2024年 7月末日	4,679,111,128	—	15,143	—
	8月末日	4,708,945,253	—	15,044	—
	9月末日	4,777,874,506	—	15,103	—
	10月末日	4,948,074,309	—	15,471	—
	11月末日	4,931,078,156	—	15,329	—
	12月末日	5,076,298,568	—	15,618	—
	2025年 1月末日	5,096,628,761	—	15,533	—
	2月末日	5,041,076,933	—	15,186	—
	3月末日	5,063,492,327	—	15,051	—
	4月末日	5,060,368,681	—	14,896	—
	5月末日	5,232,133,426	—	15,227	—
	6月末日	5,381,416,382	—	15,546	—
	7月末日	5,551,104,490	—	15,852	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円
第5計算期間	0円
第6計算期間	0円
第7計算期間	0円
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	2.47
第2計算期間	8.76
第3計算期間	△4.06

第4計算期間	8.71
第5計算期間	3.44
第6計算期間	5.84
第7計算期間	0.20
第8計算期間	13.11
第9計算期間	7.91
第10中間計算期間	1.48

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

【eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）】

（１）【投資状況】

2025年 7月31日現在
（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	17,855,236,725	99.01
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	179,023,494	0.99
純資産総額		18,034,260,219	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年7月末日、同日前 1 年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

		純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日	（2017年 1月26日）	239,586,416	239,586,416	10,516	10,516
第2計算期間末日	（2018年 1月26日）	1,592,675,860	1,592,675,860	11,791	11,791
第3計算期間末日	（2019年 1月28日）	2,562,665,122	2,562,665,122	11,125	11,125
第4計算期間末日	（2020年 1月27日）	3,618,196,941	3,618,196,941	12,386	12,386
第5計算期間末日	（2021年 1月26日）	4,870,796,900	4,870,796,900	12,872	12,872
第6計算期間末日	（2022年 1月26日）	6,882,109,383	6,882,109,383	13,895	13,895
第7計算期間末日	（2023年 1月26日）	8,835,402,651	8,835,402,651	14,136	14,136
第8計算期間末日	（2024年 1月26日）	12,014,727,343	12,014,727,343	16,474	16,474
第9計算期間末日	（2025年 1月27日）	16,401,781,472	16,401,781,472	18,412	18,412
2024年 7月末日		14,599,937,795	—	17,687	—
8月末日		14,715,148,294	—	17,520	—
9月末日		15,042,183,472	—	17,617	—
10月末日		15,683,594,856	—	18,166	—
11月末日		15,646,237,695	—	18,006	—
12月末日		16,166,429,020	—	18,424	—
2025年 1月末日		16,376,081,902	—	18,375	—

2月末日	16,081,871,863	—	17,877	—
3月末日	16,092,101,246	—	17,663	—
4月末日	16,042,319,698	—	17,387	—
5月末日	16,885,680,689	—	18,007	—
6月末日	17,479,664,039	—	18,473	—
7月末日	18,034,260,219	—	19,018	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円
第5計算期間	0円
第6計算期間	0円
第7計算期間	0円
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	5.16
第2計算期間	12.12
第3計算期間	△5.64
第4計算期間	11.33
第5計算期間	3.92
第6計算期間	7.94
第7計算期間	1.73
第8計算期間	16.53
第9計算期間	11.76
第10中間計算期間	2.91

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

【eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）】

（１）【投資状況】

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	11,863,414,585	99.01
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	118,857,031	0.99
純資産総額		11,982,271,616	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年7月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (2017年 1月26日)	188,359,324	188,359,324	10,764	10,764
第2計算期間末日 (2018年 1月26日)	973,394,215	973,394,215	12,500	12,500
第3計算期間末日 (2019年 1月28日)	1,462,678,215	1,462,678,215	11,535	11,535
第4計算期間末日 (2020年 1月27日)	2,028,368,456	2,028,368,456	13,213	13,213
第5計算期間末日 (2021年 1月26日)	2,779,715,457	2,779,715,457	13,876	13,876
第6計算期間末日 (2022年 1月26日)	4,174,041,793	4,174,041,793	15,356	15,356
第7計算期間末日 (2023年 1月26日)	5,433,899,506	5,433,899,506	15,921	15,921
第8計算期間末日 (2024年 1月26日)	7,652,001,603	7,652,001,603	19,434	19,434
第9計算期間末日 (2025年 1月27日)	10,663,961,072	10,663,961,072	22,613	22,613
2024年 7月末日	9,508,583,977	—	21,441	—
8月末日	9,527,432,920	—	21,122	—
9月末日	9,721,495,782	—	21,291	—
10月末日	10,170,123,621	—	22,142	—
11月末日	10,130,657,421	—	21,929	—
12月末日	10,491,653,375	—	22,577	—
2025年 1月末日	10,659,407,097	—	22,571	—
2月末日	10,470,162,340	—	21,850	—
3月末日	10,474,811,002	—	21,549	—
4月末日	10,355,556,886	—	21,035	—
5月末日	11,056,194,705	—	22,108	—
6月末日	11,476,759,841	—	22,818	—
7月末日	11,982,271,616	—	23,763	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円
第5計算期間	0円
第6計算期間	0円
第7計算期間	0円
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	7.64
第2計算期間	16.12
第3計算期間	△7.72
第4計算期間	14.54
第5計算期間	5.01
第6計算期間	10.66
第7計算期間	3.67
第8計算期間	22.06
第9計算期間	16.35
第10中間計算期間	4.67

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

【eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）】

（１）【投資状況】

2025年 7月31日現在
（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	21,211,674,280	99.01
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	212,643,923	0.99
純資産総額		21,424,318,203	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年7月末日、同日前 1 年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（2017年 1月26日）	182,414,441	182,414,441	11,152	11,152
第2計算期間末日（2018年 1月26日）	2,145,447,863	2,145,447,863	13,714	13,714
第3計算期間末日（2019年 1月28日）	3,008,888,114	3,008,888,114	12,038	12,038
第4計算期間末日（2020年 1月27日）	3,277,796,593	3,277,796,593	13,812	13,812
第5計算期間末日（2021年 1月26日）	4,503,577,169	4,503,577,169	15,541	15,541
第6計算期間末日（2022年 1月26日）	6,580,279,930	6,580,279,930	16,750	16,750
第7計算期間末日（2023年 1月26日）	8,332,473,177	8,332,473,177	17,502	17,502
第8計算期間末日（2024年 1月26日）	12,264,113,724	12,264,113,724	21,731	21,731
第9計算期間末日（2025年 1月27日）	18,750,639,064	18,750,639,064	26,079	26,079
2024年 7月末日	16,329,512,310	—	24,480	—

8月末日	16,269,185,922	—	23,972	—
9月末日	16,783,398,997	—	24,325	—
10月末日	17,635,111,564	—	25,434	—
11月末日	17,558,356,902	—	25,076	—
12月末日	18,368,685,243	—	26,069	—
2025年 1月末日	18,705,987,069	—	26,019	—
2月末日	18,326,994,917	—	25,091	—
3月末日	18,376,753,514	—	24,692	—
4月末日	18,107,268,146	—	23,943	—
5月末日	19,539,616,507	—	25,416	—
6月末日	20,395,380,648	—	26,402	—
7月末日	21,424,318,203	—	27,610	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円
第5計算期間	0円
第6計算期間	0円
第7計算期間	0円
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	11.52
第2計算期間	22.97
第3計算期間	△12.22
第4計算期間	14.73
第5計算期間	12.51
第6計算期間	7.77
第7計算期間	4.48
第8計算期間	24.16
第9計算期間	20.00
第10中間計算期間	5.54

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（参考）

TOPIXマザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	1,825,821,169,260	99.29
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	12,977,591,005	0.71
純資産総額		1,838,798,760,265	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	12,297,330,000	0.67

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

外国株式インデックスマザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	アメリカ	7,054,310,818,607	74.25
	イギリス	356,190,799,320	3.75
	カナダ	312,549,040,446	3.29
	ドイツ	247,055,534,572	2.60
	フランス	242,301,833,435	2.55
	スイス	229,461,196,876	2.42
	オーストラリア	158,785,809,242	1.67
	オランダ	139,651,363,163	1.47
	スペイン	79,341,692,758	0.84
	スウェーデン	73,457,820,233	0.77
	イタリア	65,831,340,102	0.69
	デンマーク	47,463,472,211	0.50
	香港	45,804,467,339	0.48
	シンガポール	31,663,436,017	0.33
	フィンランド	24,967,928,249	0.26
	ベルギー	20,248,896,571	0.21
	ノルウェー	14,721,506,244	0.15
	イスラエル	13,713,018,981	0.14
	アイルランド	10,731,712,009	0.11
	オーストリア	5,196,862,923	0.05
	ニュージーランド	4,663,745,248	0.05
	ルクセンブルク	4,379,219,057	0.05

	ポルトガル	3,560,298,953	0.04
	パミューダ	1,104,143,136	0.01
	ジャージー	612,467,614	0.01
	小計	9,187,768,423,306	96.70
投資証券	アメリカ	136,759,864,673	1.44
	オーストラリア	9,492,249,706	0.10
	フランス	3,552,277,706	0.04
	シンガポール	2,391,700,912	0.03
	イギリス	2,245,690,483	0.02
	香港	1,867,923,007	0.02
	小計	156,309,706,487	1.65
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	156,748,893,181	1.65
純資産総額		9,500,827,022,974	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	115,810,937,445	1.22
	買建	カナダ	4,815,947,957	0.05
	買建	ドイツ	16,405,788,062	0.17
	買建	オーストラリア	4,528,209,420	0.05
	買建	イギリス	5,976,590,366	0.06
	買建	スイス	3,567,363,851	0.04

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

新興国株式インデックスマザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	香港	329,834,638,990	23.58
	台湾	265,850,594,120	19.00
	インド	231,848,745,583	16.57
	韓国	150,247,664,381	10.74
	中国	52,317,483,911	3.74
	ブラジル	48,334,761,626	3.46
	サウジアラビア	46,347,071,877	3.31
	南アフリカ	44,403,277,238	3.17
	アメリカ	34,923,383,031	2.50
	メキシコ	25,094,031,877	1.79

	アラブ首長国連邦	22,476,282,233	1.61
	マレーシア	16,599,680,472	1.19
	インドネシア	15,710,079,156	1.12
	ポーランド	15,613,090,784	1.12
	タイ	15,376,344,174	1.10
	クウェート	10,477,068,203	0.75
	カタール	9,926,478,689	0.71
	ギリシャ	8,862,873,972	0.63
	トルコ	7,298,638,673	0.52
	フィリピン	5,963,679,191	0.43
	チリ	5,586,104,911	0.40
	ハンガリー	3,884,535,745	0.28
	チェコ	2,465,433,382	0.18
	コロンビア	1,593,070,415	0.11
	小計	1,371,035,012,634	98.01
投資証券	メキシコ	1,121,726,963	0.08
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	26,713,910,989	1.91
純資産総額		1,398,870,650,586	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	26,723,259,662	1.91

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

日本債券インデックスマザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	日本	911,564,963,400	85.38
地方債証券	日本	53,723,296,540	5.03
特殊債券	日本	40,702,167,574	3.81
社債券	日本	65,733,510,000	6.16
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	△4,087,725,596	△0.38
純資産総額		1,067,636,211,918	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2025年 7月31日現在

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
債券先物取引	買建	日本	552,120,000	0.05

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

外国債券インデックスマザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	338,884,121,553	45.51
	中国	83,733,349,002	11.25
	フランス	57,212,759,046	7.68
	イタリア	51,418,586,029	6.91
	イギリス	41,215,729,942	5.54
	ドイツ	39,163,363,746	5.26
	スペイン	33,311,245,260	4.47
	カナダ	13,831,317,402	1.86
	ベルギー	11,119,965,876	1.49
	オランダ	9,583,943,815	1.29
	オーストラリア	8,986,271,323	1.21
	オーストリア	8,325,843,704	1.12
	メキシコ	5,822,123,262	0.78
	ポーランド	4,827,138,956	0.65
	ポルトガル	4,567,469,697	0.61
	マレーシア	3,771,061,314	0.51
	フィンランド	3,554,107,521	0.48
	アイルランド	3,226,849,986	0.43
	シンガポール	2,833,315,699	0.38
	イスラエル	2,602,882,079	0.35
	ニュージーランド	2,004,748,802	0.27
	デンマーク	1,610,075,594	0.22
	スウェーデン	1,228,414,162	0.16
	ノルウェー	1,106,946,357	0.15
小計		733,941,630,127	98.57
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	10,677,901,296	1.43
純資産総額		744,619,531,423	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

新興国債券インデックスマザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	マレーシア	11,876,476,549	9.86
	中国	11,853,484,716	9.84
	メキシコ	11,769,634,018	9.77
	インドネシア	11,694,724,563	9.71
	インド	11,673,528,331	9.69
	タイ	10,500,397,748	8.71
	ポーランド	8,725,252,002	7.24
	南アフリカ	8,438,465,173	7.00
	ブラジル	7,478,697,990	6.21
	チェコ	5,797,305,376	4.81
	コロンビア	4,133,964,906	3.43
	ルーマニア	3,710,884,751	3.08
	ハンガリー	2,537,079,479	2.11
	ペルー	2,261,056,561	1.88
	チリ	2,012,024,872	1.67
	トルコ	1,437,418,203	1.19
	セルビア	351,112,466	0.29
	ドミニカ共和国	337,286,959	0.28
	ウルグアイ	181,535,628	0.15
小計		116,770,330,291	96.91
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	3,720,333,781	3.09
純資産総額		120,490,664,072	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

東証ＲＥＩＴ指数マザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
投資証券	日本	147,300,998,000	97.43
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	3,888,879,406	2.57
純資産総額		151,189,877,406	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
不動産投信指数先物取引	買建	日本	3,787,992,000	2.51

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

MUAM G－REITマザーファンド

投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
投資証券	アメリカ	122,871,109,536	76.75
	オーストラリア	12,404,197,140	7.75
	イギリス	6,791,268,556	4.24
	シンガポール	5,081,527,633	3.17
	フランス	3,290,154,608	2.06
	カナダ	2,114,086,216	1.32
	香港	1,786,705,324	1.12
	ベルギー	1,631,598,510	1.02
	スペイン	819,660,153	0.51
	オランダ	274,708,703	0.17
	イスラエル	268,265,471	0.17
	韓国	267,476,256	0.17
	ガーンジー	135,618,700	0.08
	ニュージーランド	131,985,587	0.08
	アイルランド	67,378,903	0.04
	ドイツ	53,427,012	0.03
	イタリア	21,684,210	0.01
	小計	158,010,852,518	98.69
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	2,091,901,017	1.31
純資産総額		160,102,753,535	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2025年 7月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
不動産投信指数先物取引	買建	アメリカ	2,046,686,323	1.28

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

２【設定及び解約の実績】

【eMAX I S 最適化バランス（マイゴールキーパー）】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	102,471,260	22,880,671	79,590,589
第2計算期間	637,544,173	168,268,377	548,866,385
第3計算期間	738,319,664	398,273,566	888,912,483
第4計算期間	1,608,931,662	916,191,895	1,581,652,250
第5計算期間	1,457,352,249	971,248,466	2,067,756,033
第6計算期間	1,937,700,542	900,611,546	3,104,845,029
第7計算期間	1,422,813,306	863,086,379	3,664,571,956
第8計算期間	1,287,202,647	999,336,100	3,952,438,503
第9計算期間	1,628,077,293	732,888,809	4,847,626,987
第10中間計算期間	569,073,639	369,407,053	5,047,293,573

【eMAX I S 最適化バランス（マイディフェンダー）】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	160,337,325	58,805,087	101,532,238
第2計算期間	549,171,328	160,032,694	490,670,872
第3計算期間	529,756,983	257,351,087	763,076,768
第4計算期間	935,152,642	482,620,593	1,215,608,817
第5計算期間	832,042,163	645,464,516	1,402,186,464
第6計算期間	989,014,237	300,622,413	2,090,578,288
第7計算期間	727,844,011	392,262,071	2,426,160,228
第8計算期間	862,948,815	495,513,614	2,793,595,429
第9計算期間	928,637,197	439,836,436	3,282,396,190
第10中間計算期間	390,103,595	171,679,277	3,500,820,508

【eMAX I S 最適化バランス（マイミッドフィルダー）】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	260,488,787	32,652,572	227,836,215
第2計算期間	1,456,517,138	333,642,454	1,350,710,899
第3計算期間	1,396,610,241	443,890,186	2,303,430,954
第4計算期間	1,574,849,626	957,094,193	2,921,186,387
第5計算期間	1,787,720,269	924,966,032	3,783,940,624
第6計算期間	2,017,199,558	848,198,851	4,952,941,331
第7計算期間	1,870,039,961	572,529,165	6,250,452,127
第8計算期間	2,219,666,001	1,176,817,768	7,293,300,360
第9計算期間	2,726,913,899	1,111,825,252	8,908,389,007
第10中間計算期間	1,116,968,940	538,441,412	9,486,916,535

【eMAX I S 最適化バランス（マイフォワード）】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	215,753,311	40,763,565	174,989,746
第2計算期間	829,352,524	225,629,350	778,712,920
第3計算期間	779,203,269	289,913,679	1,268,002,510
第4計算期間	798,079,346	530,976,262	1,535,105,594
第5計算期間	1,029,073,218	560,968,918	2,003,209,894
第6計算期間	1,171,870,790	456,890,240	2,718,190,444
第7計算期間	1,108,556,067	413,734,207	3,413,012,304
第8計算期間	1,299,340,431	774,837,783	3,937,514,952
第9計算期間	1,443,692,561	665,287,436	4,715,920,077
第10中間計算期間	586,802,580	261,228,410	5,041,494,247

【eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	182,226,207	18,654,277	163,571,930
第2計算期間	1,905,710,622	504,850,166	1,564,432,386
第3計算期間	1,752,807,683	817,772,802	2,499,467,267
第4計算期間	1,151,729,676	1,278,059,271	2,373,137,672
第5計算期間	1,813,569,711	1,288,759,235	2,897,948,148
第6計算期間	2,073,770,424	1,043,131,929	3,928,586,643
第7計算期間	1,544,412,998	712,265,698	4,760,733,943
第8計算期間	2,077,699,068	1,194,818,191	5,643,614,820
第9計算期間	2,777,450,299	1,231,182,043	7,189,883,076
第10中間計算期間	1,093,945,770	529,097,395	7,754,731,451

3【ファンドの経理状況】

- 1 当ファンドの中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第284条、第307条の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2025年 1月28日から2025年 7月27日まで）の中間財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により中間監査を受けております。

【eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	2,553,210
コール・ローン	82,574,969	93,477,670
親投資信託受益証券	6,171,202,164	6,418,106,038
未収入金	1,389,045	3,927,708
未収利息	1,045	3,577
流動資産合計	6,255,167,223	6,518,068,203
資産合計	6,255,167,223	6,518,068,203
負債の部		
流動負債		
未払解約金	5,261,815	20,855,767
未払受託者報酬	1,991,214	2,048,900
未払委託者報酬	14,602,169	15,025,221
その他未払費用	119,408	122,869
流動負債合計	21,974,606	38,052,757
負債合計	21,974,606	38,052,757
純資産の部		
元本等		
元本	4,847,626,987	5,047,293,573
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	1,385,565,630	1,432,721,873
（分配準備積立金）	485,128,563	450,429,383
元本等合計	6,233,192,617	6,480,015,446
純資産合計	6,233,192,617	6,480,015,446
負債純資産合計	6,255,167,223	6,518,068,203

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
営業収益		
受取利息	15,786	162,695
有価証券売買等損益	137,278,972	13,169,155
営業収益合計	137,294,758	13,331,850
営業費用		
支払利息	418	-
受託者報酬	1,745,104	2,048,900
委託者報酬	12,797,292	15,025,221
その他費用	104,648	122,869
営業費用合計	14,647,462	17,196,990
営業利益又は営業損失（△）	122,647,296	△3,865,140
経常利益又は経常損失（△）	122,647,296	△3,865,140
中間純利益又は中間純損失（△）	122,647,296	△3,865,140
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	11,056,656	△7,690,623
期首剰余金又は期首欠損金（△）	931,981,873	1,385,565,630
剰余金増加額又は欠損金減少額	238,072,419	148,345,501
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	238,072,419	148,345,501
剰余金減少額又は欠損金増加額	93,736,993	105,014,741
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	93,736,993	105,014,741
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	1,187,907,939	1,432,721,873

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
２．その他中間財務諸表作成のための重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年1月26日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間においては当該日が休業日のため、当中間計算期間は2025年 1月28日から2025年 7月27日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１． 期首元本額	3,952,438,503円	4,847,626,987円
期中追加設定元本額	1,628,077,293円	569,073,639円
期中一部解約元本額	732,888,809円	369,407,053円
２． 受益権の総数	4,847,626,987口	5,047,293,573口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１．中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	（１）有価証券 同左 （２）デリバティブ取引 同左 （３）上記以外の金融商品 同左
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	1.2858円	1.2839円
(1万口当たり純資産額)	(12,858円)	(12,839円)

【eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	527,715
コール・ローン	67,881,798	78,458,884
親投資信託受益証券	5,059,474,741	5,483,925,477
未収入金	2,639,983	2,823,352
未収利息	859	3,001
流動資産合計	5,129,997,381	5,565,738,429
資産合計	5,129,997,381	5,565,738,429
負債の部		
流動負債		
未払解約金	6,134,486	20,292,364
未払受託者報酬	1,624,689	1,692,354
未払委託者報酬	11,914,333	12,410,515
その他未払費用	97,421	101,476
流動負債合計	19,770,929	34,496,709
負債合計	19,770,929	34,496,709
純資産の部		
元本等		
元本	3,282,396,190	3,500,820,508
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	1,827,830,262	2,030,421,212
（分配準備積立金）	757,503,028	720,351,752
元本等合計	5,110,226,452	5,531,241,720
純資産合計	5,110,226,452	5,531,241,720
負債純資産合計	5,129,997,381	5,565,738,429

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
営業収益		
受取利息	13,295	134,184
有価証券売買等損益	200,611,389	103,070,919
営業収益合計	200,624,684	103,205,103
営業費用		
支払利息	369	-
受託者報酬	1,444,876	1,692,354
委託者報酬	10,595,668	12,410,515
その他費用	86,631	101,476
営業費用合計	12,127,544	14,204,345
営業利益又は営業損失（△）	188,497,140	89,000,758
経常利益又は経常損失（△）	188,497,140	89,000,758
中間純利益又は中間純損失（△）	188,497,140	89,000,758
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	11,787,055	△4,105,217
期首剰余金又は期首欠損金（△）	1,236,626,365	1,827,830,262
剰余金増加額又は欠損金減少額	260,463,855	204,596,586
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	260,463,855	204,596,586
剰余金減少額又は欠損金増加額	103,097,004	95,111,611
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	103,097,004	95,111,611
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	1,570,703,301	2,030,421,212

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
２．その他中間財務諸表作成のための重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年1月26日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間においては当該日が休業日のため、当中間計算期間は2025年 1月28日から2025年 7月27日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１． 期首元本額	2,793,595,429円	3,282,396,190円
期中追加設定元本額	928,637,197円	390,103,595円
期中一部解約元本額	439,836,436円	171,679,277円
２． 受益権の総数	3,282,396,190口	3,500,820,508口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１．中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	（１）有価証券 同左 （２）デリバティブ取引 同左 （３）上記以外の金融商品 同左
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	1.5569円	1.5800円
(1万口当たり純資産額)	(15,569円)	(15,800円)

【eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	3,970,382
コール・ローン	223,317,963	251,064,119
親投資信託受益証券	16,239,069,574	17,807,506,935
未収入金	5,291,771	5,011,037
未収利息	2,828	9,609
流動資産合計	16,467,682,136	18,067,562,082
資産合計	16,467,682,136	18,067,562,082
負債の部		
流動負債		
未払解約金	22,820,638	45,628,250
未払受託者報酬	5,132,668	5,423,068
未払委託者報酬	37,639,459	39,769,104
その他未払費用	307,899	325,322
流動負債合計	65,900,664	91,145,744
負債合計	65,900,664	91,145,744
純資産の部		
元本等		
元本	8,908,389,007	9,486,916,535
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	7,493,392,465	8,489,499,803
（分配準備積立金）	3,247,050,864	3,063,618,013
元本等合計	16,401,781,472	17,976,416,338
純資産合計	16,401,781,472	17,976,416,338
負債純資産合計	16,467,682,136	18,067,562,082

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
営業収益		
受取利息	41,844	439,553
有価証券売買等損益	869,328,497	588,837,262
営業収益合計	869,370,341	589,276,815
営業費用		
支払利息	1,153	-
受託者報酬	4,435,525	5,423,068
委託者報酬	32,527,097	39,769,104
その他費用	266,066	325,322
営業費用合計	37,229,841	45,517,494
営業利益又は営業損失（△）	832,140,500	543,759,321
経常利益又は経常損失（△）	832,140,500	543,759,321
中間純利益又は中間純損失（△）	832,140,500	543,759,321
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	48,142,935	△16,947,656
期首剰余金又は期首欠損金（△）	4,721,426,983	7,493,392,465
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,131,454,499	886,062,473
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,131,454,499	886,062,473
剰余金減少額又は欠損金増加額	378,733,938	450,662,112
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	378,733,938	450,662,112
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	6,258,145,109	8,489,499,803

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
２．その他中間財務諸表作成のための重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年1月26日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間においては当該日が休業日のため、当中間計算期間は2025年 1月28日から2025年 7月27日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１． 期首元本額	7,293,300,360円	8,908,389,007円
期中追加設定元本額	2,726,913,899円	1,116,968,940円
期中一部解約元本額	1,111,825,252円	538,441,412円
２． 受益権の総数	8,908,389,007口	9,486,916,535口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１．中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	（１）有価証券 同左 （２）デリバティブ取引 同左 （３）上記以外の金融商品 同左
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	1.8412円	1.8949円
(1万口当たり純資産額)	(18,412円)	(18,949円)

【eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	11,597,374
コール・ローン	151,246,359	157,789,426
親投資信託受益証券	10,558,259,268	11,817,840,278
未収入金	8,352,409	11,837,769
未収利息	1,915	6,039
流動資産合計	10,717,859,951	11,999,070,886
資産合計	10,717,859,951	11,999,070,886
負債の部		
流動負債		
未払解約金	26,021,172	36,372,894
未払受託者報酬	3,321,421	3,537,002
未払委託者報酬	24,357,059	25,937,938
その他未払費用	199,227	212,158
流動負債合計	53,898,879	66,059,992
負債合計	53,898,879	66,059,992
純資産の部		
元本等		
元本	4,715,920,077	5,041,494,247
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	5,948,040,995	6,891,516,647
（分配準備積立金）	2,669,985,044	2,532,837,945
元本等合計	10,663,961,072	11,933,010,894
純資産合計	10,663,961,072	11,933,010,894
負債純資産合計	10,717,859,951	11,999,070,886

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
営業収益		
受取利息	27,684	282,719
有価証券売買等損益	771,129,843	589,761,896
営業収益合計	771,157,527	590,044,615
営業費用		
支払利息	759	-
受託者報酬	2,873,415	3,537,002
委託者報酬	21,071,685	25,937,938
その他費用	172,345	212,158
営業費用合計	24,118,204	29,687,098
営業利益又は営業損失（△）	747,039,323	560,357,517
経常利益又は経常損失（△）	747,039,323	560,357,517
中間純利益又は中間純損失（△）	747,039,323	560,357,517
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	40,982,141	△9,609,358
期首剰余金又は期首欠損金（△）	3,714,486,651	5,948,040,995
剰余金増加額又は欠損金減少額	876,102,652	701,056,571
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	876,102,652	701,056,571
剰余金減少額又は欠損金増加額	300,196,678	327,547,794
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	300,196,678	327,547,794
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	4,996,449,807	6,891,516,647

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
２．その他中間財務諸表作成のための重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年1月26日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間においては当該日が休業日のため、当中間計算期間は2025年 1月28日から2025年 7月27日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１． 期首元本額	3,937,514,952円	4,715,920,077円
期中追加設定元本額	1,443,692,561円	586,802,580円
期中一部解約元本額	665,287,436円	261,228,410円
２． 受益権の総数	4,715,920,077口	5,041,494,247口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
１．中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	（１）有価証券 同左 （２）デリバティブ取引 同左 （３）上記以外の金融商品 同左
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	2.2613円	2.3670円
(1万口当たり純資産額)	(22,613円)	(23,670円)

【eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	7,365,591
コール・ローン	275,591,842	306,102,157
親投資信託受益証券	18,564,425,867	21,140,546,063
未収入金	3,772,522	19,480,802
未収利息	3,490	11,715
流動資産合計	18,843,793,721	21,473,506,328
資産合計	18,843,793,721	21,473,506,328
負債の部		
流動負債		
未払解約金	44,924,702	75,765,566
未払受託者報酬	5,746,237	6,223,884
未払委託者報酬	42,139,001	45,641,751
その他未払費用	344,717	373,368
流動負債合計	93,154,657	128,004,569
負債合計	93,154,657	128,004,569
純資産の部		
元本等		
元本	7,189,883,076	7,754,731,451
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	11,560,755,988	13,590,770,308
（分配準備積立金）	4,706,825,894	4,389,089,204
元本等合計	18,750,639,064	21,345,501,759
純資産合計	18,750,639,064	21,345,501,759
負債純資産合計	18,843,793,721	21,473,506,328

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
営業収益		
受取利息	48,262	519,097
有価証券売買等損益	1,563,050,954	1,237,284,444
営業収益合計	1,563,099,216	1,237,803,541
営業費用		
支払利息	1,291	-
受託者報酬	4,831,608	6,223,884
委託者報酬	35,431,759	45,641,751
その他費用	289,832	373,368
営業費用合計	40,554,490	52,239,003
営業利益又は営業損失（△）	1,522,544,726	1,185,564,538
経常利益又は経常損失（△）	1,522,544,726	1,185,564,538
中間純利益又は中間純損失（△）	1,522,544,726	1,185,564,538
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	113,275,427	△27,972,930
期首剰余金又は期首欠損金（△）	6,620,498,904	11,560,755,988
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,210,602,977	1,661,621,222
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,210,602,977	1,661,621,222
剰余金減少額又は欠損金増加額	691,239,559	845,144,370
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	691,239,559	845,144,370
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	9,549,131,621	13,590,770,308

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
2. その他中間財務諸表作成のための重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年1月26日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間においては当該日が休業日のため、当中間計算期間は2025年 1月28日から2025年 7月27日までとなっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
1. 期首元本額	5,643,614,820円	7,189,883,076円
期中追加設定元本額	2,777,450,299円	1,093,945,770円
期中一部解約元本額	1,231,182,043円	529,097,395円
2. 受益権の総数	7,189,883,076口	7,754,731,451口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第9期中間計算期間 自 2024年 1月27日 至 2024年 7月26日	第10期中間計算期間 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第9期 [2025年 1月27日現在]	第10期中間計算期間末 [2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	2.6079円	2.7526円
(1万口当たり純資産額)	(26,079円)	(27,526円)

(参考)

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

TOPIXマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[2025年 7月27日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	32,943,896,455
株式	1,818,820,914,360
派生商品評価勘定	856,609,850
未収入金	1,734,013,851
未収配当金	2,252,552,546
未収利息	420,291
その他未収収益	36,156,741
差入委託証拠金	1,034,362,620
流動資産合計	1,857,678,926,714
資産合計	1,857,678,926,714
負債の部	
流動負債	
前受金	1,107,500,000
未払金	6,307,611,040
未払解約金	5,440,620,530
未払利息	5,125,828
受入担保金	7,029,924,969
流動負債合計	19,890,782,367
負債合計	19,890,782,367
純資産の部	
元本等	
元本	494,375,608,537
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	1,343,412,535,810
元本等合計	1,837,788,144,347
純資産合計	1,837,788,144,347
負債純資産合計	1,857,678,926,714

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	469,456,790,357円
期中追加設定元本額	83,459,520,529円
期中一部解約元本額	58,540,702,349円
元本の内訳※	
三菱ＵＦＪ トピックスインデックスオープン	6,109,048,403円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定型）	729,686,863円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定成長型）	3,724,053,507円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（成長型）	3,985,844,044円
三菱ＵＦＪ トピックスオープン（確定拠出年金）	3,806,697,203円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	5,235,247,961円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	31,583,756,077円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	41,405,264,822円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	75,730,037円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（成長型）	216,598,543円

	[2025年 7月27日現在]
eMAXIS TOPIXインデックス	7,347,196,129円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,966,474,088円
eMAXIS バランス（波乗り型）	66,927,198円
三菱UFJ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	2,976,005,869円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	823,383,886円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	1,222,682,079円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	1,274,386,271円
eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	87,748,918,602円
国内株式セレクション（ラップ向け）	5,565,714,729円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	12,732,536,665円
つみたて日本株式（TOPIX）	14,761,521,885円
つみたて8資産均等バランス	6,603,889,820円
つみたて4資産均等バランス	2,744,650,788円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	4,162,581円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	6,283,855円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	11,901,618円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）	752,174,112円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）	1,105,842,020円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）	804,125,716円
三菱UFJ DC年金バランス（株式15）	705,280,120円
三菱UFJ DC年金バランス（株式40）	2,137,179,057円
三菱UFJ DC年金バランス（株式65）	5,476,398,765円
eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）	2,337,973,614円
三菱UFJ DC年金インデックス（国内株式）	7,339,705,690円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）	807,141,287円
三菱UFJ DC年金バランス（株式25）	158,317,814円
国内株式インデックス・オープン（ラップ向け）	26,103,263,055円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2065（確定拠出年金）	423,996,128円
ラップ向けインデックスf 国内株式	4,007,247,303円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（保守型）	135,714,089円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（標準型）	4,713,157,391円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（積極型）	2,284,322,831円
三菱UFJ DC年金バランス（株式80）	137,468,406円
ダイナミックアロケーションファンド（ラップ向け）	2,408,661,032円
ラップ向けダイナミックアロケーションファンド	95,303,390円
ラップ向けアクティブアロケーションファンド	20,017,398円
アクティブアロケーションファンド（ラップ向け）	162,259,933円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2070（確定拠出年金）	38,966,102円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）コンサバティブコース	13,955,108円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）スタンダードコース	87,425,380円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	23,120,027円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R1）	3,219,011円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R2）	7,254,872円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R3）	40,609,748円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R4）	31,143,460円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R5）	17,015,381円
三菱UFJ バランス・イノベーション（株式抑制型）	219,417,811円
三菱UFJ バランス・イノベーション（株式重視型）	332,975,005円
三菱UFJ バランス・イノベーション（新興国投資型）	147,938,775円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション（KAKUSHIN）	439,899,108円
三菱UFJ バランス・イノベーション（債券重視型）	112,263,867円
eMAXIS バランス（4資産均等型）	979,769,828円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	180,127,738円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	229,952,574円

	[2025年 7月27日現在]
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	989,837,818円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	813,093,934円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	1,567,437,219円
三菱UFJ トピックスオープン	875,439,046円
三菱UFJ DCトピックスオープン	7,531,493,907円
三菱UFJ トピックスオープンVA（適格機関投資家限定）	35,028,507円
三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA（適格機関投資家限定）	2,529,603,875円
三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）	6,562,722円
三菱UFJ バランスファンド40VA（適格機関投資家限定）	2,808,229,833円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型（適格機関投資家限定）	42,028,251円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）	958,813,259円
MUAM 日本株式インデックスファンド（適格機関投資家限定）	65,515,685,010円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型（適格機関投資家限定）	159,639,750円
三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）	133,801円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型（適格機関投資家限定）	111,670円
三菱UFJ バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）	160,449,081円
三菱UFJ バランスファンド20VA（適格機関投資家限定）	265,204,156円
MUAM インデックスファンドTOPIXi（適格機関投資家限定）	3,323,378,793円
MUKAM バランス・イノベーション（株式抑制型）（適格機関投資家転売制限付）	876,209,076円
MUKAM バランス・イノベーション（リスク抑制型）（適格機関投資家転売制限付）	182,117,451円
MUKAM スマート・クオリティ・セクション（適格機関投資家転売制限付）	299,498,250円
世界8資産 バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	114,114,385円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド（適格機関投資家限定）	675,156,359円
MUKAM バランス・イノベーション（債券重視型）（適格機関投資家転売制限付）	60,631,313円
MUKAM 日本株式インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	6,675,885,230円
MUKAM スマート・クオリティ・セクション2（適格機関投資家限定）	303,652,267円
MUKAM 下方リスク抑制型ダイナミックアロケーションファンド（適格機関投資家限定）	3,440,666,857円
MUKAM バランス・イノベーション（リスク抑制型）2（適格機関投資家転売制限付）	13,486,854円
マルチアセット運用戦略ファンド（適格機関投資家限定）	238,818円
日米コアバランス（FOFs用）（適格機関投資家限定）	60,363,091円
日本株式インデックスファンドS	5,998,488,210円
グローバルバランスオープンV（適格機関投資家限定）	30,959,912円
MUAM グローバルバランス（退職給付信託向け）（適格機関投資家限定）	9,798,010,251円
TOPIXインデックスファンドV（適格機関投資家限定）	679,338円
パッシブバランスファンド（2%コース）（適格機関投資家転売制限付）	184,323円
パッシブバランスファンド（5%コース）（適格機関投資家転売制限付）	783,451円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-07（適格機関投資家限定）	26,395,724円
MUKAM 米国国債プラス日本株式ファンド2020-07（適格機関投資家限定）	78,105,938円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-09（適格機関投資家限定）	26,040,690円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-11（適格機関投資家限定）	26,048,827円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-03（適格機関投資家限定）	26,036,239円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-05（適格機関投資家限定）	26,125,773円
MUKAM 日米コアバランス 2021-07（適格機関投資家限定）	187,556,802円

	[2025年 7月27日現在]
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-11（適格機関投資家限定）	25,990,668円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-01（適格機関投資家限定）	26,655,183円
MUKAM 日米コアバランス（除く米国株）2022-03（適格機関投資家限定）	347,546,077円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-03（適格機関投資家限定）	27,988,181円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-05（適格機関投資家限定）	28,894,845円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-07（適格機関投資家限定）	29,359,526円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-09（適格機関投資家限定）	29,471,583円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-11（適格機関投資家限定）	29,471,987円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-01（適格機関投資家限定）	29,470,042円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-03（適格機関投資家限定）	29,470,173円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-05（適格機関投資家限定）	29,470,273円
三菱UFJ TOPIX・ファンド	5,122,957,775円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	2,327,572円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	5,673,708円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	1,357,365円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	5,349,471円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1	363,649,113円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA	48,846,311円
三菱UFJ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	1,819,747円
三菱UFJ バランスVA60D（適格機関投資家限定）	20,745,073円
三菱UFJ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	937,065円
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	10,643,304円
三菱UFJ <DC>TOPIX・ファンド	1,508,738,305円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	270,984,314円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	1,179,872,952円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	1,157,641,505円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	1,166,025,313円
三菱UFJ DC国内株式インデックスファンド	58,615,478,576円
合計	494,375,608,537円
2. 貸付有価証券 貸借取引契約により以下の通り有価証券の貸付を行っております。 株式	6,705,297,570円
3. 受益権の総数	494,375,608,537口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（1）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （2）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （3）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	16,035,115,000	—	16,892,040,000	856,925,000
合計		16,035,115,000	—	16,892,040,000	856,925,000

（注）時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
 - 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
 - 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
- ※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（1口当たり情報）

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	3.7174円
(1万口当たり純資産額)	(37,174円)

外国株式インデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[2025年 7月27日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	49,647,675,591
コール・ローン	4,670,865,705
株式	9,113,924,319,034
投資証券	157,445,644,829
派生商品評価勘定	2,084,145,333
未収配当金	5,037,050,567
未収利息	59,590
差入委託証拠金	75,083,203,212
流動資産合計	9,407,892,963,861
資産合計	9,407,892,963,861
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	49,143,234
未払解約金	1,987,352,590
流動負債合計	2,036,495,824
負債合計	2,036,495,824
純資産の部	
元本等	
元本	1,143,399,106,899
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	8,262,457,361,138
元本等合計	9,405,856,468,037
純資産合計	9,405,856,468,037
負債純資産合計	9,407,892,963,861

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	991,341,063,713円
期中追加設定元本額	177,166,757,093円
期中一部解約元本額	25,108,713,907円
元本の内訳※	
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定型）	156,945,902円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定成長型）	876,842,735円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（成長型）	910,875,213円
MAXIS 海外株式（MSCIコクサイ）上場投信	3,632,242,965円
MAXIS 全世界株式（オール・カントリー）上場投信	7,177,206,452円
三菱UFJ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	1,126,026,813円
三菱UFJ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	7,436,505,316円
三菱UFJ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	9,462,228,182円
三菱UFJ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	33,647,199円
三菱UFJ 6資産バランスファンド（成長型）	97,025,236円
eMAXIS 先進国株式インデックス（除く日本）	14,298,756,755円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	888,958,668円
eMAXIS バランス（波乗り型）	76,418,613円
三菱UFJ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	1,700,265,085円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	165,136,397円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	283,287,456円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	285,576,994円
eMAXIS Slim 先進国株式インデックス（除く日本）	118,250,689,572円
海外株式セレクション（ラップ向け）	2,960,203,052円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	5,716,965,424円
つみたて先進国株式	48,366,050,820円
つみたて8資産均等バランス	2,980,553,529円
つみたて4資産均等バランス	1,232,924,545円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	2,071,376円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	3,653,201円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	7,446,386円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）	168,180,789円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）	239,783,898円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）	184,799,834円
三菱UFJ DC年金バランス（株式15）	80,588,820円
三菱UFJ DC年金バランス（株式40）	586,087,200円
三菱UFJ DC年金バランス（株式65）	1,778,468,536円
eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）	82,403,580,302円
eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）	1,047,708,588円
三菱UFJ DC年金インデックス（先進国株式）	5,813,105,353円
eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	699,437,985,208円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）	176,966,519円
三菱UFJ DC年金バランス（株式25）	40,702,712円

	[2025年 7月27日現在]
つみたて全世界株式	10,136,448,022円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2065（確定拠出年金）	96,948,191円
ラップ向けインデックスf 先進国株式	2,855,899,019円
三菱UFJ DC年金バランス（株式80）	138,228,918円
ダイナミックアロケーションファンド（ラップ向け）	1,298,055,200円
ラップ向けダイナミックアロケーションファンド	50,168,648円
ラップ向けアクティブアロケーションファンド	6,159,629円
アクティブアロケーションファンド（ラップ向け）	49,014,576円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2070（確定拠出年金）	8,898,994円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	32,406,230円
eMAXIS Slim 先進国株式（含む日本）＜オール先進国＞	450,135,935円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R1）	1,456,771円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R2）	3,959,316円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R3）	24,942,315円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R4）	19,840,404円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R5）	12,631,373円
三菱UFJ DC海外株式インデックスファンド	33,009,162,959円
eMAXIS 全世界株式インデックス（除く日本）	7,942,809,763円
三菱UFJ バランス・イノベーション（株式抑制型）	183,376,105円
三菱UFJ バランス・イノベーション（株式重視型）	441,190,304円
三菱UFJ バランス・イノベーション（新興国投資型）	100,629,538円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション（KAKUSHIN）	367,143,952円
三菱UFJ バランス・イノベーション（債券重視型）	73,492,568円
eMAXIS バランス（4資産均等型）	439,647,849円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	79,457,207円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	121,531,282円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	591,437,702円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	507,558,194円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	1,134,867,597円
三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）	716,627,783円
三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）	3,748,497円
三菱UFJ バランスファンド40VA（適格機関投資家限定）	2,092,381,371円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型（適格機関投資家限定）	18,377,520円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）	428,860,060円
MUAM 外国株式インデックスファンド（適格機関投資家限定）	7,629,314,848円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型（適格機関投資家限定）	50,297円
三菱UFJ バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）	354,425,651円
MUAM 全世界株式インデックスファンド（適格機関投資家限定）	3,939,531,639円
MUKAM バランス・イノベーション（株式抑制型）（適格機関投資家転売制限付）	731,952,876円
MUKAM バランス・イノベーション（リスク抑制型）（適格機関投資家転売制限付）	152,138,649円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	144,373,823円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	65,196,209円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド（適格機関投資家限定）	974,438,227円
MUKAM バランス・イノベーション（債券重視型）（適格機関投資家転売制限付）	57,193,554円
MUKAM 外国株式インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	4,816,747,296円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2（適格機関投資家限定）	145,034,946円
MUKAM 下方リスク抑制型ダイナミックアロケーションファンド（適格機関投資家限定）	5,708,479,599円
MUKAM バランス・イノベーション（リスク抑制型）2（適格機関投資家転売制限付）	28,400,442円
マルチアセット運用戦略ファンド（適格機関投資家限定）	139,911円
海外株式インデックスファンドS	16,381,780,950円
外国株式インデックスオープンV（適格機関投資家限定）	1,115,040,643円

	[2025年 7月27日現在]
全世界株式インデックスファンドⅤ（適格機関投資家限定）	679,971,476円
グローバルバランスオープンⅤ（適格機関投資家限定）	12,511,995円
全世界株式（除く日本）インデックスファンドⅤ（適格機関投資家限定）	366,634,375円
MUAM グローバルバランス（退職給付信託向け）（適格機関投資家限定）	4,776,531,798円
パッシブバランスファンド（２％コース）（適格機関投資家転売制限付）	109,983円
パッシブバランスファンド（５％コース）（適格機関投資家転売制限付）	365,416円
三菱ＵＦＪ 外国株式インデックスファンド	2,991,544,541円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）ⅤA	521,850円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）ⅤA	1,281,969円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）ⅤA	350,877円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）ⅤA	1,509,277円
三菱ＵＦＪ 外国株式インデックスファンドⅤA	16,003,785円
三菱ＵＦＪ バランスⅤA３０D（適格機関投資家限定）	407,725円
三菱ＵＦＪ バランスⅤA６０D（適格機関投資家限定）	4,676,193円
三菱ＵＦＪ バランスⅤA３０G（適格機関投資家限定）	421,793円
三菱ＵＦＪ バランスⅤA６０G（適格機関投資家限定）	4,746,191円
三菱ＵＦＪ <DC>外国株式インデックスファンド	7,819,743,947円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	60,713,971円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	265,635,734円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	298,280,680円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	328,948,326円
合計	1,143,399,106,899円
２．受益権の総数	1,143,399,106,899口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	136,158,085,907	—	138,178,401,554	2,020,315,647
	合計	136,158,085,907	—	138,178,401,554	2,020,315,647

（注）時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
- ※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	アメリカドル	5,095,523,790	—	5,107,359,727	11,835,937
	カナダドル	244,086,482	—	244,370,993	284,511
	オーストラリアドル	129,214,844	—	129,457,426	242,582
	イギリスポンド	273,497,993	—	273,593,411	95,418
	スイスフラン	132,893,696	—	133,013,697	120,001
	香港ドル	48,918,154	—	49,027,240	109,086
	シンガポールドル	24,563,373	—	24,563,564	191
	スウェーデンクローネ	70,996,033	—	71,057,965	61,932
	デンマーククローネ	85,953,552	—	86,119,413	165,861
	イスラエルシェケル	22,593,178	—	22,623,144	29,966
	ユーロ	649,157,013	—	650,897,980	1,740,967
合計		6,777,398,108	—	6,792,084,560	14,686,452

(注) 時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
- ① 為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
- ② 当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	8.2262円
(1万口当たり純資産額)	(82,262円)

新興国株式インデックスマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[2025年 7月27日現在]

資産の部

流動資産

[2025年 7月27日現在]

預金	23,185,146,201
コール・ローン	1,017,618,373
株式	1,354,310,835,726
投資証券	1,121,065,584
派生商品評価勘定	1,428,625,562
未収入金	7,813,057
未収配当金	4,458,038,091
未収利息	12,982
差入委託証拠金	11,034,254,090
流動資産合計	1,396,563,409,666
資産合計	1,396,563,409,666
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	6,769,231
未払金	3,466,588
未払解約金	254,734,884
流動負債合計	264,970,703
負債合計	264,970,703
純資産の部	
元本等	
元本	304,920,758,876
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	1,091,377,680,087
元本等合計	1,396,298,438,963
純資産合計	1,396,298,438,963
負債純資産合計	1,396,563,409,666

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。なお、ロシア株式（DR（預託証券）を含みます。以下、同じ。）の評価については、「追加情報」に記載しております。投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	265,076,064,005円
期中追加設定元本額	43,535,291,855円
期中一部解約元本額	3,690,596,984円
元本の内訳※	
MAXIS全世界株式（オール・カントリー）上場投信	1,609,944,742円
eMAXIS 新興国株式インデックス	9,931,030,122円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,612,772,902円
eMAXIS バランス（波乗り型）	232,984,091円
三菱UFJ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	614,781,988円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	10,321,229,825円
eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	49,597,365,409円
つみたて新興国株式	11,486,039,867円
つみたて8資産均等バランス	5,434,091,801円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	667,045円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,318,695円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	3,468,307円
eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）	18,484,572,514円
eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）	1,896,567,190円

	[2025年 7月27日現在]
eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	156,887,121,292円
新興国株式インデックス・オープン（ラップ向け）	4,721,341,338円
つみたて全世界株式	2,273,744,113円
ラップ向けインデックスf 新興国株式	1,468,966,905円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（保守型）	34,303,488円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（標準型）	2,027,427,531円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（積極型）	2,593,415,368円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	8,342,373円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R2）	1,191,376円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R3）	8,337,592円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R4）	9,207,822円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R5）	10,355,708円
三菱UFJ DC新興国株式インデックスファンド	18,548,715,708円
新興国株式インデックスオープン	374,564,186円
eMAXIS 全世界株式インデックス（除く日本）	1,781,713,634円
三菱UFJ バランス・イノベーション（新興国投資型）	251,379,977円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	36,613,341円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	199,471,360円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	237,941,008円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	939,847,259円
MUAM 全世界株式インデックスファンド（適格機関投資家限定）	878,723,735円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	23,573,682円
全世界株式インデックスファンドV（適格機関投資家限定）	152,505,432円
グローバルバランスオープンV（適格機関投資家限定）	2,834,395円
全世界株式（除く日本）インデックスファンドV（適格機関投資家限定）	82,263,382円
MUKAM バランスファンド2019-12（適格機関投資家限定）	46,968,353円
MUKAM バランスファンド2020-07（適格機関投資家限定）	46,639,322円
MUKAM バランスファンド2020-10（適格機関投資家限定）	46,414,698円
合計	304,920,758,876円
2. 受益権の総数	304,920,758,876口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はあります。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		

市場取引	株価指数先物取引 買建	39,715,823,675	—	41,134,894,491	1,419,070,816
合計		39,715,823,675	—	41,134,894,491	1,419,070,816

(注) 時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	アメリカドル	1,528,943,648	—	1,533,481,532	4,537,884
	売建				
	ニュー台湾ドル	450,288,000	—	452,007,000	△1,719,000
	カタールリアル	5,173,611	—	5,206,980	△33,369
合計		1,984,405,259	—	1,990,695,512	2,785,515

(注) 時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
 - ① 為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
 - ② 当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 - (イ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
 - (ロ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	4.5792円 (45,792円)

(追加情報)

自 2025年 1月28日 至 2025年 7月27日
当ファンドは、ロシア株式（DR（預託証券）を含みます。以下、「当該株式」）を組み入れております。2022年 2月24日に発生したロシアのウクライナ侵攻による当ファンドへの影響は以下の通りです。 ロシアが、2022年 2月24日に首都キーウを含むウクライナ国内の複数の都市への軍事侵攻に踏み切って以降、期末日時点においてロシア軍とウクライナ軍の戦闘が続いております。 2022年 2月24日以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やそれに対抗措置をロシアが設けたことにより、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となり、市場でのロシア関連資産の取引が成立しない状況となりました。このため、組入株式の時価については金融商品取引所等における最終相場で評価していますが、当該株式の取引停止等に伴い、取引停止日以降の最終相場の価格が入手できない状況となりました。当該株式のロシア国外の投資家による取引が制限されており、当該株式に係る証券決済や為替取引についても、実現が困難な状況となっております。 時価の算定に関する会計基準に基づきますと、組入有価証券に係る時価は秩序ある取引が行われると想定した場合の出口価格である必要があり、上記状況を総合的に勘案した結果、当ファンドが組み入れている当該株式において、2022年 3月14日付けで評価額をゼロとすることとし、期末日時点においても当該取り扱いを継続しております。2022年 3月11日時点の当ファンドにおける当該株式の保有割合は0.55%です。 なお、2022年 3月24日にモスクワ証券取引所は一部取引を再開しておりますが、ロシア国外の投資家による取引が制限されており、当該株式に係る証券決済や為替取引について、実現が困難な状況に変わりありません。 今後、当該株式のロシア国外の投資家による取引の再開、市場の流動性の回復、最終相場価格の提供再開、ならびに当該株式に係る証券決済や為替取引の実現等の変化があれば、状況を総合的に判断の上、その評価額をゼロから回復させる可能性もあります。

日本債券インデックスマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[2025年 7月27日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	3,397,626,837
国債証券	898,136,736,580
地方債証券	54,187,732,660
特殊債券	40,614,098,637
社債券	65,616,306,000
未収入金	2,226,552,000
未収利息	2,093,908,055
前払金	4,200,000
前払費用	198,157,010
差入委託証拠金	7,076,806
流動資産合計	1,066,482,394,585
資産合計	1,066,482,394,585
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	4,523,740
未払金	3,393,806,000
未払解約金	682,137,229
流動負債合計	4,080,466,969
負債合計	4,080,466,969
純資産の部	
元本等	
元本	886,809,827,126
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	175,592,100,490
元本等合計	1,062,401,927,616
純資産合計	1,062,401,927,616
負債純資産合計	1,066,482,394,585

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	803,969,688,884円
期中追加設定元本額	146,888,797,174円
期中一部解約元本額	64,048,658,932円
元本の内訳※	
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定型）	8,505,424,637円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定成長型）	14,017,866,778円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（成長型）	4,007,980,970円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	61,022,939,505円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	118,885,356,832円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	41,635,108,554円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	217,568,235円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（成長型）	212,257,844円
三菱ＵＦＪ 国内債券インデックスファンド	1,544,869,249円
eMAXIS 国内債券インデックス	6,214,168,393円

	[2025年 7月27日現在]
eMAXIS バランス（8資産均等型）	5,211,184,382円
eMAXIS バランス（波乗り型）	92,862,670円
三菱UFJ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	23,104,526,109円
三菱UFJ 国内債券インデックスファンド（確定拠出年金）	46,252,481,646円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	14,376,192,461円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	8,333,116,072円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	3,790,977,863円
eMAXIS Slim 国内債券インデックス	23,853,349,926円
国内債券セレクション（ラップ向け）	18,162,926,057円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	34,493,992,186円
つみたて8資産均等バランス	17,854,003,796円
つみたて4資産均等バランス	7,957,406,054円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	28,910,272円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	23,579,883円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	2,879,935円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）	9,335,200,069円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）	4,601,396,630円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）	1,918,543,496円
三菱UFJ DC年金バランス（株式15）	11,646,327,799円
三菱UFJ DC年金バランス（株式40）	10,618,892,049円
三菱UFJ DC年金バランス（株式65）	7,245,873,469円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）	1,481,394,946円
三菱UFJ DC年金バランス（株式25）	1,668,077,461円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2065（確定拠出年金）	749,355,334円
ラップ向けインデックスf 国内債券	7,638,908,934円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（保守型）	2,377,790,887円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（標準型）	546,550,869円
三菱UFJ DC年金バランス（株式80）	32,525,781円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2070（確定拠出年金）	68,867,220円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）コンサバティブコース	12,009,326円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）スタンダードコース	189,694円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	6,112,185円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R1）	47,350,494円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R2）	52,136,023円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R3）	131,411,637円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R4）	7,681,463円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R5）	973,408円
eMAXIS 債券バランス（2資産均等型）	78,723,949円
eMAXIS バランス（4資産均等型）	2,840,886,099円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	2,578,479,791円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	1,602,052,368円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	3,093,134,198円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	192,184,539円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	85,559,756円
三菱UFJ 日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）	3,644,611,469円
三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）	29,039,661円
三菱UFJ バランスファンド40VA（適格機関投資家限定）	8,249,296,307円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型（適格機関投資家限定）	497,554,548円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）	4,308,226,928円
MUAM 日本債券インデックスファンド（適格機関投資家限定）	191,233,626,831円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型（適格機関投資家限定）	459,541,417円
三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）	1,183,983円

	[2025年 7月27日現在]
三菱UFJ バランスファンドVA 30型（適格機関投資家限定）	327,031円
三菱UFJ バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）	4,255,996,124円
三菱UFJ バランスファンド20VA（適格機関投資家限定）	2,342,788,432円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	2,506,039,087円
世界8資産 バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	885,935,397円
MUKAM 日本債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	72,983,307,219円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2（適格機関投資家限定）	2,517,320,796円
マルチアセット運用戦略ファンド（適格機関投資家限定）	2,247,201円
日本債券インデックスファンドS	8,504,858,184円
グローバルバランスオープンV（適格機関投資家限定）	91,464,834円
国内債券インデックスオープンV（適格機関投資家限定）	40,897,919円
MUAM グローバルバランス（退職給付信託向け）（適格機関投資家限定）	24,503,259,248円
パッシブバランスファンド（2%コース）（適格機関投資家転売制限付）	5,560,118円
パッシブバランスファンド（5%コース）（適格機関投資家転売制限付）	2,980,589円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-07（適格機関投資家限定）	736,982,950円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-09（適格機関投資家限定）	727,069,754円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-11（適格機関投資家限定）	727,296,913円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-03（適格機関投資家限定）	726,945,411円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-05（適格機関投資家限定）	729,445,928円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-11（適格機関投資家限定）	725,673,073円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-01（適格機関投資家限定）	744,227,292円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-03（適格機関投資家限定）	781,444,766円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-05（適格機関投資家限定）	806,759,862円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-07（適格機関投資家限定）	819,734,189円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-09（適格機関投資家限定）	822,893,329円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-11（適格機関投資家限定）	822,915,719円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-01（適格機関投資家限定）	822,861,668円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-03（適格機関投資家限定）	822,865,044円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-05（適格機関投資家限定）	822,868,712円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	20,017,475円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	24,042,370円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	3,753,156円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	10,913,422円
三菱UFJ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	13,624,966円
三菱UFJ バランスVA60D（適格機関投資家限定）	46,644,142円
三菱UFJ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	7,468,135円
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	26,617,990円
三菱UFJ <DC>日本債券インデックスファンド	4,580,571,029円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	2,330,477,842円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	4,999,642,496円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	3,200,812,264円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	2,378,673,723円
合計	886,809,827,126円

	[2025年 7月27日現在]
2. 受益権の総数	886,809,827,126口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

債券関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引 買建	554,240,000	—	549,720,000	△4,520,000
合計		554,240,000	—	549,720,000	△4,520,000

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
 - 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
 - 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
- ※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（1口当たり情報）

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	1.1980円
(1万口当たり純資産額)	(11,980円)

外国債券インデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[2025年 7月27日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	3,626,613,438
コール・ローン	350,458,471
国債証券	730,730,318,622
派生商品評価勘定	1,256,590
未収入金	2,390,043
未収利息	6,441,079,788

[2025年 7月27日現在]

前払費用	525,133,740
流動資産合計	741,677,250,692
資産合計	741,677,250,692
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,553
未払解約金	102,256,878
流動負債合計	102,258,431
負債合計	102,258,431
純資産の部	
元本等	
元本	267,907,111,433
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	473,667,880,828
元本等合計	741,574,992,261
純資産合計	741,574,992,261
負債純資産合計	741,677,250,692

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	251,136,537,763円
期中追加設定元本額	27,846,768,015円
期中一部解約元本額	11,076,194,345円
元本の内訳※	
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定型）	282,989,300円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定成長型）	744,014,391円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（成長型）	525,563,622円
三菱ＵＦＪ 外国債券オープン	747,373,837円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	2,030,331,644円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	6,309,977,111円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	5,459,580,708円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	490,401,593円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（成長型）	94,647,910円
eMAXIS 先進国債券インデックス（除く日本）	6,684,646,841円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	2,500,417,325円
eMAXIS バランス（波乗り型）	201,186,406円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	1,226,299,951円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	483,441,751円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	319,813,623円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	219,386,800円
eMAXIS Slim 先進国債券インデックス（除く日本）	61,982,136,596円
海外債券セレクション（ラップ向け）	3,200,667,830円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	16,415,428,470円
つみたて8資産均等バランス	8,539,325,831円
つみたて4資産均等バランス	3,603,162,120円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	6,445,971円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	5,137,794円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	3,749,403円

	[2025年 7月27日現在]
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）	307,787,098円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）	219,443,868円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）	128,233,233円
三菱UFJ DC年金バランス（株式15）	1,162,476,953円
三菱UFJ DC年金バランス（株式40）	1,690,829,683円
三菱UFJ DC年金バランス（株式65）	2,850,439,493円
三菱UFJ DC年金インデックス（先進国債券）	3,678,916,980円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）	117,030,002円
三菱UFJ DC年金バランス（株式25）	195,709,181円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2065（確定拠出年金）	61,535,531円
ラップ向けインデックスf 先進国債券	3,851,330,095円
三菱UFJ DC年金バランス（株式80）	108,759,695円
ラップ向けアクティブアロケーションファンド	19,454,753円
アクティブアロケーションファンド（ラップ向け）	158,888,680円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2070（確定拠出年金）	5,684,856円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	24,242,538円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R1）	11,543,198円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R2）	10,974,421円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R3）	27,119,989円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R4）	9,987,328円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R5）	1,265,730円
三菱UFJ 外国債券オープン（確定拠出年金）	3,355,089,734円
三菱UFJ 外国債券オープン（毎月分配型）	14,528,553,226円
ワールド・インカムオープン	865,345,915円
三菱UFJ DC海外債券インデックスファンド	15,240,143,970円
三菱UFJ 世界国債インデックスファンド（毎月分配型）	359,947,204円
三菱UFJ 世界国債インデックスファンド（年1回決算型）	2,704,054,457円
eMAXIS バランス（4資産均等型）	1,287,470,906円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	630,436,127円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	337,340,376円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	642,154,247円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	253,488,995円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	112,793,043円
三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）	620,209,336円
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2（適格機関投資家限定）	8,483,118円
MUAM 世界債券オープン（適格機関投資家限定）	1,926,963,601円
三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）	10,816,977円
三菱UFJ バランスファンド40VA（適格機関投資家限定）	1,223,266,115円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）	944,592,132円
MUAM 外国債券インデックスファンド（適格機関投資家限定）	49,736,360,969円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型（適格機関投資家限定）	413,591,002円
三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）	264,350円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型（適格機関投資家限定）	97,594円
三菱UFJ バランスファンド20VA（適格機関投資家限定）	1,045,378,228円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	449,611,921円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	47,022,056円
MUKAM 外国債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	9,319,773,122円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2（適格機関投資家限定）	453,554,936円
外国債券インデックスファンドV（適格機関投資家限定）	248,823,346円
海外債券インデックスファンドS	8,966,707,015円
グローバルバランスオープンV（適格機関投資家限定）	41,300,489円
MUAM グローバルバランス（退職給付信託向け）（適格機関投資家限定）	12,357,414,449円

	[2025年 7月27日現在]
パッシブバランスファンド（２％コース）（適格機関投資家転売制限付）	636,771円
パッシブバランスファンド（５％コース）（適格機関投資家転売制限付）	338,680円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	1,528,886円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	2,485,298円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	509,799円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	885,674円
三菱ＵＦＪ 外国債券インデックスファンドVA	3,979,879円
三菱ＵＦＪ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	2,392,323円
三菱ＵＦＪ バランスVA60D（適格機関投資家限定）	6,817,213円
三菱ＵＦＪ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	2,460,498円
三菱ＵＦＪ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	6,973,348円
三菱ＵＦＪ <DC>外国債券インデックスファンド	1,700,948,544円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	178,120,478円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	519,585,306円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	437,579,319円
三菱ＵＦＪ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	193,040,328円
合計	267,907,111,433円
２．受益権の総数	267,907,111,433口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	アメリカドル	127,485,300	—	128,208,814	723,514
	イギリスポンド	17,893,719	—	17,909,010	15,291
	オフショア元	41,373,482	—	41,594,830	221,348
	ユーロ	88,039,336	—	88,334,220	294,884
合計		274,791,837	—	276,046,874	1,255,037

（注）時価の算定方法

1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

- ①為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
- ②当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（1口当たり情報）

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	2.7680円
(1万口当たり純資産額)	(27,680円)

新興国債券インデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	[2025年 7月27日現在]
資産の部	
流動資産	
預金	1,827,384,108
コール・ローン	48,536,360
国債証券	116,721,462,851
派生商品評価勘定	492,374
未収利息	1,887,110,303
前払費用	164,590,945
流動資産合計	120,649,576,941
資産合計	120,649,576,941
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	214,350
未払金	385,094,412
未払解約金	7,679,758
流動負債合計	392,988,520
負債合計	392,988,520
純資産の部	
元本等	
元本	60,709,914,706
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	59,546,673,715
元本等合計	120,256,588,421
純資産合計	120,256,588,421
負債純資産合計	120,649,576,941

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	58,813,117,519円
期中追加設定元本額	5,007,506,876円
期中一部解約元本額	3,110,709,689円
元本の内訳※	
eMAXIS バランス（８資産均等型）	3,571,437,797円
eMAXIS バランス（波乗り型）	282,087,318円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（８資産）（確定拠出年金）	1,387,159,362円
海外債券セレクション（ラップ向け）	714,359,361円
eMAXIS Slim バランス（８資産均等型）	23,094,519,636円
つみたて８資産均等バランス	12,027,916,175円
eMAXIS マイマネージャー １９７０s	1,507,731円
eMAXIS マイマネージャー １９８０s	2,405,051円
eMAXIS マイマネージャー １９９０s	5,265,100円
ラップ向けインデックスf 新興国債券	2,153,305,780円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	18,747,639円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ２）	2,720,722円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ３）	15,238,340円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ４）	14,028,334円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ５）	2,369,723円
eMAXIS 新興国債券インデックス	3,243,184,971円
三菱ＵＦＪ DC新興国債券インデックスファンド	13,107,751,130円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	83,528,307円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	360,693,254円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	356,805,039円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	211,693,771円
世界８資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	53,190,165円
合計	60,709,914,706円
2. 受益権の総数	60,709,914,706口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 インドネシアルピア	38,059,170	—	38,550,584	491,414

メキシコペソ	15,489,435	—	15,485,925	△3,510
南アフリカランド	10,036,800	—	10,037,760	960
トルコリラ	3,270,690	—	3,264,390	△6,300
売建				
ハンガリーフォリント	9,023,280	—	9,227,820	△204,540
合計	75,879,375	—	76,566,479	278,024

（注）時価の算定方法

1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

①為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

②当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

（イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（1口当たり情報）

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	1.9808円
(1万口当たり純資産額)	(19,808円)

東証REIT指数マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	[2025年 7月27日現在]
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	2,876,605,528
投資証券	144,051,609,500
派生商品評価勘定	131,821,380
未収配当金	996,778,245
未収利息	36,699
差入委託証拠金	133,701,579
流動資産合計	148,190,552,931
資産合計	148,190,552,931
負債の部	
流動負債	
前受金	119,757,960
未払金	319,344,070
未払解約金	63,367,840
流動負債合計	502,469,870
負債合計	502,469,870
純資産の部	
元本等	
元本	38,569,692,180
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	109,118,390,881
元本等合計	147,688,083,061
純資産合計	147,688,083,061
負債純資産合計	148,190,552,931

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	37,783,667,134円
期中追加設定元本額	4,817,875,872円
期中一部解約元本額	4,031,850,826円
元本の内訳※	
eMAXIS 国内リートインデックス	3,401,420,232円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,844,976,229円
eMAXIS バランス（波乗り型）	146,094,211円
三菱UFJ <DC>J-REITインデックスファンド	1,012,591,247円
三菱UFJ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	537,747,561円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	11,962,601,576円
つみたて8資産均等バランス	6,211,874,794円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	1,042,969円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,557,834円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	3,628,415円
eMAXIS Slim 国内リートインデックス	6,839,459,623円
ラップ向けインデックスf 国内リート	1,709,440,667円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（保守型）	148,809,460円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（標準型）	1,746,034,984円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（積極型）	396,930,315円
ラップ向けアクティブアロケーションファンド	3,669,208円
三菱UFJ 国内リートインデックスファンド	97,744,172円
アクティブアロケーションファンド（ラップ向け）	31,429,810円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）コンサバティブコース	5,735,566円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）スタンダードコース	20,927,713円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	1,979,304円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R1）	619,651円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R2）	1,871,199円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R3）	11,790,703円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R4）	9,648,649円
三菱UFJ 資産配分最適化バランス（R5）	1,222,550円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	34,024,554円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	57,784,072円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	280,072,185円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	246,357,177円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	109,345,156円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	20,619,753円
マルチアセット運用戦略ファンド（適格機関投資家限定）	227,055円
MUKAM 3資産インカムバランスファンド（適格機関投資家転売制限付）	223,810,672円
日本リートインデックスファンドS	880,815,643円
MUAM J-REITインデックスファンド（適格機関投資家転売制限付）	2,665,932円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-07（適格機関投資家限定）	35,653,288円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-09（適格機関投資家限定）	35,173,712円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-11（適格機関投資家限定）	35,184,701円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-03（適格機関投資家限定）	35,167,695円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-05（適格機関投資家限定）	35,288,666円

	[2025年 7月27日現在]
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-11（適格機関投資家限定）	35,106,143円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-01（適格機関投資家限定）	36,003,767円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-03（適格機関投資家限定）	37,804,217円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-05（適格機関投資家限定）	39,028,908円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-07（適格機関投資家限定）	39,657,748円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-09（適格機関投資家限定）	39,810,976円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-11（適格機関投資家限定）	39,812,208円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-01（適格機関投資家限定）	39,809,602円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-03（適格機関投資家限定）	39,809,745円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-05（適格機関投資家限定）	39,809,963円
合計	38,569,692,180円
2. 受益権の総数	38,569,692,180口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はあります。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

投資証券関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	不動産投信指数先物取引				
	買建	3,502,848,040	—	3,634,678,000	131,829,960
合計		3,502,848,040	—	3,634,678,000	131,829,960

（注）時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（1口当たり情報）

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.8291円 (38,291円)

MUAM G－REITマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[2025年 7月27日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	771,668,667
コール・ローン	29,459,807
投資証券	157,840,945,368
派生商品評価勘定	37,480,232
未収配当金	251,461,717
未収利息	375
差入委託証拠金	834,920,414
流動資産合計	159,765,936,580
資産合計	159,765,936,580
負債の部	
流動負債	
未払解約金	16,170,286
流動負債合計	16,170,286
負債合計	16,170,286
純資産の部	
元本等	
元本	54,840,707,142
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	104,909,059,152
元本等合計	159,749,766,294
純資産合計	159,749,766,294
負債純資産合計	159,765,936,580

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[2025年 7月27日現在]
1. 期首	2025年 1月28日
期首元本額	51,594,978,946円
期中追加設定元本額	6,170,829,448円
期中一部解約元本額	2,925,101,252円
元本の内訳※	
三菱UFJ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	94,563,650円
三菱UFJ 6資産バランスファンド（成長型）	91,030,550円
eMAXIS 先進国リートインデックス（除く日本）	5,959,366,162円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	2,422,527,162円
eMAXIS バランス（波乗り型）	191,723,132円
三菱UFJ <DC>先進国REITインデックスファンド	3,327,148,524円
三菱UFJ プライムバランス（8資産）（確定拠出年金）	714,609,652円
オルタナティブ資産セレクション（ラップ向け）	1,644,158,795円

	[2025年 7月27日現在]
eMAXIS Slim バランス（８資産均等型）	15,774,299,302円
つみたて８資産均等バランス	8,224,490,548円
eMAXIS マイマネージャー １９７０s	1,372,435円
eMAXIS マイマネージャー １９８０s	2,059,619円
eMAXIS マイマネージャー １９９０s	4,775,555円
eMAXIS Slim 先進国リートインデックス（除く日本）	12,409,994,860円
三菱ＵＦＪ 先進国リートインデックスファンド	139,295,480円
ラップ向けインデックスf 先進国リート	1,120,435,896円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（保守型）	11,500,727円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（標準型）	253,671,216円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）コンサバティブコース	114,574円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド・アネックス（為替リスク軽減型）スタンダードコース	1,488,048円
eMAXIS/PayPay証券 全世界バランス	22,974,596円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ１）	812,145円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ２）	2,452,168円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ３）	15,451,316円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ４）	12,644,156円
三菱ＵＦＪ 資産配分最適化バランス（Ｒ５）	1,602,050円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	44,805,665円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	76,199,307円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	370,489,678円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	325,578,410円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	144,740,908円
世界８資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	27,401,469円
マルチアセット運用戦略ファンド（適格機関投資家限定）	310,671円
海外リートインデックスファンドS	1,313,350,692円
先進国リートインデックスオープンV（適格機関投資家限定）	93,268,024円
合計	54,840,707,142円
２．受益権の総数	54,840,707,142口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2025年 7月27日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

投資証券関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	不動産投信指数先物取引				
	買建	1,859,085,610	—	1,896,565,671	37,480,061

合計	1,859,085,610	—	1,896,565,671	37,480,061
----	---------------	---	---------------	------------

（注）時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[2025年 7月27日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建				
	アメリカドル	10,904,381	—	10,904,210	171
合計		10,904,381	—	10,904,210	171

（注）時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
 - ①為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
 - ②当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 - （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
 - （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（１口当たり情報）

	[2025年 7月27日現在]
1口当たり純資産額	2.9130円
(1万口当たり純資産額)	(29,130円)

4【委託会社等の概況】

（１）【資本金の額】

2025年7月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近５年間における資本金の額の増減はありません。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2025年 7月31日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	817	45,719,318
追加型公社債投資信託	16	1,581,576
単位型株式投資信託	80	348,648
単位型公社債投資信託	40	98,312
合 計	953	47,747,854

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

（３）【その他】

①定款の変更等

定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

②訴訟事件その他重要事項

該当事項はありません。

5【委託会社等の経理状況】

(1) 財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

なお、財務諸表に掲載している金額については、従来、千円未満の端数を切り捨てて表示しておりましたが、当事業年度より百万円未満の端数を切り捨てて表示することに変更しました。

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第40期事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	第39期 (2024年3月31日現在)		第40期 (2025年3月31日現在)	
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	※2	58,206		37,354
有価証券		15		700
前払費用		679		770
未収入金		138		25
未収委託者報酬		21,064		24,418
未収収益	※2	1,485	※2	1,005
金銭の信託		10,500		1,650
その他		371		398
流動資産合計		92,461		66,325
固定資産				
有形固定資産				
建物	※1	2,936	※1	2,762
器具備品	※1	1,531	※1	1,045
土地		628		628
建設仮勘定		45		747
有形固定資産合計		5,141		5,184
無形固定資産				
電話加入権		15		-
ソフトウェア		5,008		4,452
ソフトウェア仮勘定		1,587		1,003
無形固定資産合計		6,612		5,456
投資その他の資産				
投資有価証券		13,788		10,302

関係会社株式		159		159
投資不動産	※1	1,788	※1	1,712
長期差入保証金		689		690
前払年金費用		47		-
繰延税金資産		1,088		1,640
その他		45		45
貸倒引当金		△23		△23
投資その他の資産合計		17,583		14,526
固定資産合計		29,337		25,166
資産合計		121,799		91,491

(単位：百万円)

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	807	474
未払金		
未払収益分配金	105	114
未払償還金	43	151
未払手数料	※2 7,523	8,878
その他未払金	※2 885	※2 819
未払費用	※2 8,611	※2 10,352
未払消費税等	623	1,211
未払法人税等	2,235	3,187
賞与引当金	1,182	1,308
役員賞与引当金	175	259
その他	12	1
流動負債合計	22,204	26,761
固定負債		
退職給付引当金	1,608	1,654
役員退職慰労引当金	30	25
時効後支払損引当金	250	244
資産除去債務	1,428	1,444
その他	29	29
固定負債合計	3,346	3,398
負債合計	25,551	30,159
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金		
資本準備金	3,572	3,572
その他資本剰余金	41,160	41,160
資本剰余金合計	44,732	44,732
利益剰余金		
利益準備金	342	342
その他利益剰余金		
別途積立金	6,998	-

繰越利益剰余金	40,236	12,846
利益剰余金合計	47,577	13,189
株主資本合計	94,310	59,921

(単位：百万円)

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,937	1,410
評価・換算差額等合計	1,937	1,410
純資産合計	96,247	61,332
負債純資産合計	121,799	91,491

(2) 【損益計算書】

(単位：百万円)

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	98,635	114,618
投資顧問料	3,117	3,645
その他営業収益	148	2
営業収益合計	101,901	118,266
営業費用		
支払手数料	※4 34,494	39,884
広告宣伝費	593	692
公告費	1	0
調査費		
調査費	3,537	4,604
委託調査費	27,296	32,816
事務委託費	1,861	2,486
営業雑経費		
通信費	137	156
印刷費	390	389
協会費	68	88
諸会費	20	23
事務機器関連費	2,531	2,925
その他営業雑経費	139	-
営業費用合計	71,070	84,071
一般管理費		
給料		
役員報酬	400	469
給料・手当	7,202	7,985
賞与引当金繰入	1,182	1,308
役員賞与引当金繰入	175	259
福利厚生費	1,424	1,538

交際費	10	12
旅費交通費	108	132
租税公課	397	478
不動産賃借料	728	644
退職給付費用	381	377
固定資産減価償却費	2,469	2,383
諸経費	490	1,174
一般管理費合計	14,971	16,765
営業利益	15,859	17,429

(単位：百万円)

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	54	107
受取利息	※4 12	12
投資有価証券償還益	204	29
収益分配金等時効完成分	17	4
受取賃貸料	※4 162	214
その他	44	22
営業外収益合計	496	390
営業外費用		
投資有価証券償還損	234	7
時効後支払損引当金繰入	-	15
事務過誤費	10	7
賃貸関連費用	108	188
その他	25	9
営業外費用合計	380	227
経常利益	15,975	17,592
特別利益		
投資有価証券売却益	464	739
固定資産売却益	※1 16	-
資産除去債務履行差額	87	-
特別利益合計	568	739
特別損失		
投資有価証券売却損	57	138
投資有価証券評価損	31	-
固定資産除却損	※3 20	※3 18
固定資産売却損	※2 65	※2 6
減損損失	-	※5 1,306
企業結合関連費用	※6 1,187	-
事業譲渡関連損失	-	※7 491
特別損失合計	1,361	1,961
税引前当期純利益	15,182	16,371
法人税、住民税及び事業税	※4 4,542	※4 5,356
法人税等調整額	102	△344
法人税等合計	4,644	5,011
当期純利益	10,537	11,359

(3) 【株主資本等変動計算書】

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計
当期首残高	2,000	3,572	41,160	44,732
当期変動額				
企業結合による増加				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	2,000	3,572	41,160	44,732

	利益剰余金				株主資本合計
	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	342	6,998	33,267	40,608	87,341
当期変動額					
企業結合による増加			1,602	1,602	1,602
剰余金の配当			△5,171	△5,171	△5,171
当期純利益			10,537	10,537	10,537
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	6,969	6,969	6,969
当期末残高	342	6,998	40,236	47,577	94,310

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	672	672	88,013
当期変動額			
企業結合による増加			1,602
剰余金の配当			△5,171
当期純利益			10,537
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,265	1,265	1,265
当期変動額合計	1,265	1,265	8,234
当期末残高	1,937	1,937	96,247

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計
当期首残高	2,000	3,572	41,160	44,732
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
別途積立金の取崩				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	2,000	3,572	41,160	44,732

	利益剰余金				株主資本合計
	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
別途 積立金		繰越利益 剰余金			
当期首残高	342	6,998	40,236	47,577	94,310
当期変動額					
剰余金の配当			△45,747	△45,747	△45,747
当期純利益			11,359	11,359	11,359
別途積立金の取崩		△6,998	6,998	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△6,998	△27,390	△34,388	△34,388
当期末残高	342	—	12,846	13,189	59,921

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,937	1,937	96,247
当期変動額			
剰余金の配当			△45,747
当期純利益			11,359
別途積立金の取崩			—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△527	△527	△527
当期変動額合計	△527	△527	△34,915
当期末残高	1,410	1,410	61,332

[注記事項]

（重要な会計方針）**1. 有価証券の評価基準及び評価方法****(1) 子会社株式及び関連会社株式**

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等及び投資事業有限責任組合等への出資以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

投資事業有限責任組合等への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）

組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な直近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法**(1) 有形固定資産及び投資不動産**

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	3年～20年
投資不動産	3年～50年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 引当金の計上基準**(1) 貸倒引当金**

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主要な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) 委託者報酬

投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っております。委託者報酬は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて日々計算され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受領しております。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2) 投資顧問料

顧客との投資一任及び投資助言契約に基づき運用及び助言を行っております。投資顧問料は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて計算され、確定した報酬を主に年4回受領しております。当該報酬は契約期間にわたり収益として認識しております。

7. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

(未適用の会計基準等)

「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年9月13日 企業会計基準委員会）

「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日 企業会計基準委員会）等

(1) 概要

企業会計基準委員会において、日本基準を国際的に整合性のあるものとする取組みの一環として、借手の全てのリースについて資産及び負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討が行われ、基本的な方針として、IFRS第16号の単一の会計処理モデルを基礎とするものの、IFRS第16号の全ての定めを採り入れるのではなく、主要な定めのみを採り入れることにより、簡素で利便性が高く、かつ、IFRS第16号の定めを個別財務諸表に用いても、基本的に修正が不要となることを目指したリース会計基準等が公表されました。

借手の会計処理として、借手のリースの費用配分の方法については、IFRS第16号と同様に、リースがファイナンス・リースであるかオペレーティング・リースであるかにかかわらず、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費及びリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。

(2) 適用予定日

2028年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「リースに関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

※1. 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
建物	498百万円	682百万円
器具備品	1,643百万円	2,168百万円
投資不動産	211百万円	288百万円

※2. 関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
預金	39,776百万円	—
未収収益	12百万円	16百万円
未払手数料	886百万円	—
その他未払金	105百万円	43百万円
未払費用	599百万円	29百万円

(損益計算書関係)

※1.固定資産売却益の内訳

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
器具備品	16百万円	—
計	16百万円	—

※2.固定資産売却損の内訳

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
器具備品	65百万円	6百万円
計	65百万円	6百万円

※3.固定資産除却損の内訳

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
建物	15百万円	—
器具備品	3百万円	2百万円
ソフトウェア	0百万円	—
電話加入権	—	15百万円
計	20百万円	18百万円

※4.関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
支払手数料	5,006百万円	—
受取利息	12百万円	—
受取賃貸料	152百万円	—
法人税、住民税及び事業税	132百万円	42百万円

※5.減損損失

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

当社は、以下のとおり減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
東京都港区（本社）	インターネット直販サービス	ソフトウェア	1,306百万円

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグループिंगとしております。

現行のソフトウェアについて、利用終了が見込まれたため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、割引率については使用見込期間が短いため考慮しておりません。

※6.企業結合関連費用

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

企業結合に伴うものであり、主にシステム統合費用などであります。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

※7.事業譲渡関連損失

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

吸収分割に伴うものであり、データ移管に伴うシステム対応費用であります。

（株主資本等変動計算書関係）

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	—	—	211,581
合計	211,581	—	—	211,581

2.配当に関する事項

(1)配当金支払額

2023年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	5,171百万円
②	1株当たり配当額	24,440円
③	基準日	2023年3月31日
④	効力発生日	2023年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2024年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	45,747百万円
②	配当の原資	利益剰余金
③	1株当たり配当額	216,218円
④	基準日	2024年3月31日
⑤	効力発生日	2024年6月27日

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	—	—	211,581
合計	211,581	—	—	211,581

2.配当に関する事項

(1)配当金支払額

2024年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	45,747百万円
②	1株当たり配当額	216,218円
③	基準日	2024年3月31日
④	効力発生日	2024年6月27日

(2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2025年6月26日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

①	配当金の総額	6,770百万円
---	--------	----------

②	配当の原資	利益剰余金
③	1株当たり配当額	31,998円
④	基準日	2025年3月31日
⑤	効力発生日	2025年6月27日

（リース取引関係）

〈借主側〉

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
1年内	681百万円	681百万円
1年超	851百万円	170百万円
合計	1,532百万円	851百万円

（金融商品関係）

1.金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、金銭の信託（合同運用指定金銭信託）で運用し、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

2.金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等及び投資事業有限責任組合等への出資は、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第39期(2024年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（百万円）	時価（百万円）	差額（百万円）
(1) 有価証券	15	15	—
(2) 金銭の信託	10,500	10,500	—
(3) 投資有価証券	13,788	13,788	—
資産計	24,303	24,303	—

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等

関連会社株式（前事業年度の貸借対照表計上額 159百万円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第39期(2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	58,206	—	—	—
金銭の信託	10,500	—	—	—
未収委託者報酬	21,064	—	—	—
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				

投資信託	15	5,351	347	11
合計	89,786	5,351	347	11

第40期(2025年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（百万円）	時価（百万円）	差額（百万円）
(1) 現金及び預金	37,354	37,352	△1
(2) 有価証券	700	700	—
(3) 金銭の信託	1,650	1,650	—
(4) 投資有価証券	10,099	10,099	—
資産計	49,805	49,803	△1

(注1) 「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等及び投資事業有限責任組合等への出資

関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額159百万円）は、市場価格がないため、記載していません。また投資有価証券のうち、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日）第24-16項を適用した投資事業有限責任組合等への出資（当事業年度の貸借対照表計上額202百万円）は上記に含めていません。

(注3) 現金及び預金に含まれるコーラブル預金（定期預金）（貸借対照表計上額1,000百万円）の時価は、取引先金融機関から提示された価格によっております。その他の現金及び預金（貸借対照表計上額36,354百万円）については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、当該帳簿価額によっております。

(注4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注5) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第40期(2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	37,354	—	—	—
金銭の信託	1,650	—	—	—
未収委託者報酬	24,418	—	—	—
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	700	3,248	268	11
合計	64,124	3,248	268	11

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価： 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価
時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

第39期(2024年3月31日現在)

区分	時価（百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	—	15	—	15
金銭の信託	—	10,500	—	10,500
投資有価証券	2,014	11,773	—	13,788
資産計	2,014	22,288	—	24,303

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF（上場投資信託）は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF（上場投資信託）以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

第40期(2025年3月31日現在)

区分	時価（百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	—	700	—	700
金銭の信託	—	1,650	—	1,650
投資有価証券	2,601	7,498	—	10,099
資産計	2,601	9,849	—	12,450

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF（上場投資信託）は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF（上場投資信託）以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(2)時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

第39期(2024年3月31日現在)

該当事項はありません。

第40期(2025年3月31日現在)

区分	時価（百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び預金	—	998	—	998
資産計	—	998	—	998

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

現金及び預金

コーラブル預金（定期預金）は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

その他の現金及び預金（貸借対照表計上額36,354百万円）は、上記に含めておりません。

（有価証券関係）

1.子会社株式及び関連会社株式

第39期（2024年3月31日現在）及び第40期（2025年3月31日現在）

関連会社株式（貸借対照表計上額は159百万円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第39期(2024年3月31日現在)

	種類	貸借対照表 計上額（百万円）	取得原価 （百万円）	差額（百万円）
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	17,364	14,269	3,094
	小計	17,364	14,269	3,094
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	6,939	7,241	△301
	小計	6,939	7,241	△301
合計		24,303	21,511	2,792

（注）「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は10,500百万円、取得原価は10,500百万円）を含めております。

第40期(2025年3月31日現在)

	種類	貸借対照表 計上額（百万円）	取得原価 （百万円）	差額（百万円）
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	9,857	7,508	2,348
	小計	9,857	7,508	2,348
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	2,795	3,086	△290
	小計	2,795	3,086	△290
合計		12,652	10,594	2,058

（注）「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は1,650百万円、取得原価は1,650百万円）及び投資事業有限責任組合等への出資（貸借対照表計上額は202百万円、取得原価は202百万円）を含めております。

3. 売却したその他有価証券

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	売却額（百万円）	売却益の合計額（百万円）	売却損の合計額（百万円）
株式	—	—	—
債券	—	—	—
その他	3,750	464	57
合計	3,750	464	57

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

種類	売却額（百万円）	売却益の合計額（百万円）	売却損の合計額（百万円）
株式	—	—	—
債券	—	—	—
その他	4,044	739	138
合計	4,044	739	138

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について31百万円（その他有価証券のその他31百万円）減損処理を行っております。

当事業年度においては、減損処理を行っておりません。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

（退職給付関係）

1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2.確定給付制度

（1）退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,582 百万円	3,652 百万円
勤務費用	182	180
利息費用	39	47
数理計算上の差異の 発生額	△79	△207
退職給付の支払額	△300	△236
過去勤務費用の発生額	—	—
企業結合による影響額	226	—
退職給付債務の期末残高	3,652	3,437

（2）年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
年金資産の期首残高	2,425 百万円	2,492 百万円
期待運用収益	43	44
数理計算上の差異の 発生額	227	△62
事業主からの拠出額	—	—
退職給付の支払額	△204	△116
退職給付制度終了に伴う 調整額	—	△8
年金資産の期末残高	2,492	2,350

（3）退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
積立型制度の 退職給付債務	2,250 百万円	2,018 百万円
年金資産	△2,492	△2,350
	△242	△332
非積立型制度の退職給付債務	1,401	1,418
未積立退職給付債務	1,159	1,086
未認識数理計算上の差異	558	660
未認識過去勤務費用	△157	△92
貸借対照表に計上された 負債と資産の純額	1,560	1,654
退職給付引当金	1,608	1,654

前払年金費用	△47	—
貸借対照表に計上された 負債と資産の純額	1,560	1,654

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
勤務費用	182 百万円	180 百万円
利息費用	39	47
期待運用収益	△43	△44
数理計算上の差異の 費用処理額	△29	△43
過去勤務費用の費用処理額	65	65
退職給付制度の統合に係る 調整額	34	—
その他	2	△0
確定給付制度に係る 退職給付費用	251	204

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額及び退職金です。「退職給付制度の統合に係る調整額」は企業結合関連費用の一部として特別損失に計上しております。

(5)年金資産に関する事項

①年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
債券	62.0 %	64.7 %
株式	35.9	33.2
その他	2.1	2.1
合計	100	100

②長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
割引率	1.39～1.41%	2.07～2.11%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.8%

3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度164百万円、当事業年度172百万円であります。

(税効果会計関係)

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の内訳

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	389百万円	392百万円
投資有価証券評価損	30	28
未払事業税	126	173

賞与引当金	362	400
役員賞与引当金	33	48
役員退職慰労引当金	9	8
退職給付引当金	492	521
減価償却超過額	199	291
資産除去債務	16	52
時効後支払損引当金	76	77
その他	227	296
繰延税金資産 小計	1,963	2,290
評価性引当額	—	—
繰延税金資産 合計	1,963	2,290
繰延税金負債		
前払年金費用	△14	—
その他有価証券評価差額金	△855	△648
その他	△5	△1
繰延税金負債 合計	△875	△649
繰延税金資産の純額	1,088	1,640

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
第39期（2024年3月31日現在）及び第40期（2025年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

4. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（令和7年法律第13号）が2025年3月31日に公布され、2026年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率等の引上げ等が行われることとなりました。これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、2025年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.62%、2026年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については30.62%から31.52%に変更しております。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が23百万円増加、その他有価証券評価差額金が17百万円、法人税等調整額が41百万円減少しております。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

建物の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から15年と見積り、割引率は1.1%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
期首残高	—	1,428百万円
有形固定資産の取得に伴う増加	1,420百万円	—
時の経過による調整額	7百万円	15百万円

期末残高

1,428百万円

1,444百万円

(収益認識関係)

1.顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

2.顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「（重要な会計方針）の6.収益および費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3.顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）及び第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第39期（自2023年4月1日 至 2024年3月31日）及び第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1.製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2.地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3.主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1.関連当事者との取引

(1)財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注5)	科目	期末残高(注5)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	グループ通算制 度	グループ通 算制度に伴 う通算税効 果額 (注1)	132 百万円	その他未払 金	105 百万円

親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,006 百万円	未払手数料	886 百万円
						投資の助言	投資助言料 (注3)	463 百万円	未払費用	260 百万円
						役員の兼任				

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注5)	科目	期末残高 (注5)
親会社	(株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 直接 100.0%	グループ通算制 度	グループ通 算制度に伴 う通算税効 果額 (注1)	42 百万円	その他未払 金	43 百万円
						経営管理	経営管理手 数料 (注4)	508 百万円		
						役員の兼任				

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. グループ通算制度に基づく通算税効果額であります。
2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。
4. 経営管理手数料については、経営管理契約に基づく取引条件によっております。
5. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
同一の親会社を持つ会社	(株)三菱UFJ 銀行	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 (注1)	4,354 百万円	未払手数料	1,028 百万円
	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券(株)	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 (注1)	7,493 百万円	未払手数料	1,449 百万円

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279百万円	信託業、銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1)	5,310百万円	未払手数料	952百万円
							投資の助言 役員の兼任	451百万円	未払費用	237百万円
同一の親会社を持つ会社	(株)三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958百万円	銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1)	4,747百万円	未払手数料	1,115百万円
							取引銀行 コーラブル預金の預入(注3)	1,000百万円	現金及び預金	1,000百万円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	東京都千代田区	40,500百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1)	8,404百万円	未払手数料	1,572百万円

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
2. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。
3. 預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は1年であります。
4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

（1株当たり情報）

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	454,898.22円	289,876.37円
1株当たり当期純利益金額	49,804.10円	53,688.15円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
--	---------------------------------------	---------------------------------------

当期純利益金額（百万円）	10,537	11,359
普通株主に帰属しない金額 （百万円）	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 （百万円）	10,537	11,359
普通株式の期中平均株式数（株）	211,581	211,581

独立監査人の監査報告書

2025年 6月 6日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 鶴見 将史

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 田嶋 大士

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第40期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独 立 監 査 人 の 中 間 監 査 報 告 書

2025年10月1日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）の2025年1月28日から2025年7月27日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）の2025年7月27日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年1月28日から2025年7月27日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年10月1日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）の2025年1月28日から2025年7月27日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）の2025年7月27日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年1月28日から2025年7月27日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年10月1日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）の2025年1月28日から2025年7月27日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）の2025年7月27日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年1月28日から2025年7月27日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年10月1日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）の2025年1月28日から2025年7月27日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）の2025年7月27日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年1月28日から2025年7月27日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独 立 監 査 人 の 中 間 監 査 報 告 書

2025年10月1日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているeMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）の2025年1月28日から2025年7月27日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）の2025年7月27日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年1月28日から2025年7月27日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。